

対象国の条件 : SOLAS条約加盟国

研修コース番号 : J1804439

案件番号 : 1884554

主分野課題 : 運輸交通/国際交通

副分野課題 :

使用言語 : 英語

案件概要

2001年の同時多発テロ以降、国際海上輸送に係る保安対策は国際的に重要な課題となっている。本研修では、港湾保安に関する国際動向や我が国の最新技術、改正SOLAS条約等により各国が満たすべき基準及びPDCAサイクル等、港湾保安施策推進に必要な知見を紹介する。なお、本研修は2015年度まではASEAN地域を対象として行ってきたが、2016年度以降は、その他の地域も対象とする。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 参加国において港湾保安の重要性が理解され、港湾保安施設に係る課題が共有される。</p> <p>【成果】 1. 港湾保安に関する国際条約と港湾保安対策の必要性及び締約国政府が果たすべき役割を理解し、説明できるようになる。 2. 港湾保安対策・監査の実施方法を理解し、実践できるようになる。 3. 港湾保安対策の評価手法について理解し、実践できるようになる。 4. 港湾保安対策に携わる職員育成を行えるようになる。</p>	<p>【対象組織】 港湾保安政策を担当する政府機関</p> <p>【対象人材】 1. 大学卒業あるいは同等の学力を有していること。 2. 英語の読み書き、会話に堪能な者であること。 3. 港湾保安政策に係わる政府職員であること。</p>	
<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>【講義】 日本の港湾保安政策、港湾保安に係る国際機関の動向（IMO等）、日本の港湾保安施設評価・計画、港湾保安設備、連絡通信手法、海事保安対策、貨物保安対策（WCO、AEO等）、保安監査技術。</p> <p>【演習】 カントリーレポート作成/発表、保安評価/保安計画、テーブルトップエクササイズ、保安監査。</p> <p>【視察】 港湾施設視察。</p>	<p>本邦研修期間</p>	<p>2018/10/1～2018/11/1</p>
	<p>担当課題部</p>	<p>社会基盤・平和構築部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>JICA横浜</p>
	<p>関係省庁</p>	
	<p>実施年度</p>	<p>2016～2018</p>
<p>主要協力機関</p>	<p>一般財団法人 国際臨海開発研究センター（OCDI）</p>	
<p>特記事項 及び ホームページ</p>		